



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月11日

上場取引所 東名

上場会社名 CDS株式会社

コード番号 2169 URL <http://www.cds-japan.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 晶紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・財務部長 兼 総務部長 (氏名) 中嶋 國雄

TEL 052-587-5410

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	6,219	8.6	482	△8.3	473	△10.9	254	△9.7
26年12月期第3四半期	5,729	△2.3	526	△17.2	530	△15.8	282	43.3

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 249百万円 (△11.9%) 26年12月期第3四半期 283百万円 (34.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	37.33	—
26年12月期第3四半期	41.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	5,752	4,078	70.9	598.04
26年12月期	5,902	4,074	69.0	597.43

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 4,078百万円 26年12月期 4,074百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	18.00	—	18.00	36.00
27年12月期	—	18.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	8.4	840	△5.0	825	△7.2	460	△5.8	67.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期3Q	6,924,400 株	26年12月期	6,924,400 株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	104,041 株	26年12月期	104,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期3Q	6,820,378 株	26年12月期3Q	6,820,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安基調の継続、原油安を背景に企業収益の改善が進んだほか、それに伴う設備投資の増加や雇用情勢に改善の兆しが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、消費税増税の影響による消費マインドの低下から依然として節約志向が根強く、また中国経済の減速から海外経済の動向も懸念され、本格的な景気回復には足取りの重たい状況が続いております。

当社グループは、情報家電産業、産業設備・工作機械産業、自動車産業、医療機器産業などに代表される「ものづくり企業」へのサービスに特化し、ドキュメンテーション事業、エンジニアリング事業、技術システム開発事業を展開しております。IT技術を駆使した「ストレート・スルー・プロセッシング」を可能とする「技術情報統合マネジメント企業」を目指しており、グループ各社の多種多様な特長と強みを活かすことで、グループ内シナジーを創出し、顧客企業の製品開発から製造・販売・サービスまでのビジネスプロセスの各段階をトータルにサポートしております。

また、高度化・多様化する顧客ニーズに対し、常に最新鋭の情報技術力を駆使するとともに、当社独自の特長ある技術を提案することで、「ものづくり企業」へのサポート体制を強化してまいりました。今後も、“提案力の強化”“高付加価値技術やグループ独自の新技术による他社との差別化・競争力強化”に注力し、“既存顧客の囲い込み”“新規顧客の開拓”を進めるほか、ロボットビジネスの本格化をはじめとする“新規事業・新規領域の拡大”“M&Aによる規模の拡大”を図り、オンリーワン企業として業界内での確固たる地位の確立に努めてまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、ドキュメンテーション事業において顧客企業の設備投資や機種開発の抑制が行われたほか、エンジニアリング事業における民間向け事業での営業展開の遅れなどにより、売上高が前年同期を下回ることとなりました。この売上高の減少分は、技術システム開発事業の売上高増加により挽回いたしました。これらの結果、連結売上高6,219百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益482百万円（前年同期比8.3%減）、経常利益473百万円（前年同期比10.9%減）、四半期純利益254百万円（前年同期比9.7%減）の増収減益となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。）

(ドキュメンテーション事業)

ドキュメンテーション事業におきましては、グループ企業との連携強化及びタブレット端末向け次世代マニュアルの開発、電子マニュアルの制作、ワンソース・マルチユースのマニュアル提案といった当社独自の強み・新技术を活かした規模の拡大とブランド力の向上に取り組んできました。しかしながら顧客企業での設備投資や機種開発の遅れなどの影響を受け、売上高は2,546百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は605百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

(エンジニアリング事業)

エンジニアリング事業におきましては、ロボット・FAシステムを軸とした株式会社バイナスの商品開発の積極展開及び新規顧客開拓・既存顧客の深掘り、独自マーケティングに基づく営業展開に取り組んできましたが、民間向け事業での営業展開の進捗の遅れなどにより、売上高は952百万円（前年同期比14.6%減）、営業利益は116百万円（前年同期比36.8%減）となりました。

(技術システム開発事業)

技術システム開発事業におきましては、既存事業の付加価値増と開発効率の向上、コア技術を活かした新ビジネス・オリジナル商品の創生による業務拡大、顧客・パートナーとの連携強化に取り組んできた結果、売上高は2,747百万円（前年同期比36.0%増）、営業利益は181百万円（前年同期比50.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,752百万円であり、前連結会計年度末より149百万円減少しております。内訳としては、流動資産が357百万円減少の3,399百万円、固定資産が207百万円増加の2,352百万円であり、流動資産の変動の主な要因は、仕掛品で96百万円の増加があった一方、受取手形及び売掛金・電子記録債権で359百万円、現金及び預金で145百万円の減少があったこと等であります。

また、固定資産の変動については、有形固定資産が258百万円増加した一方、のれんの償却等により「のれん」が38百万円減少したこと等であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末より153百万円減少し、1,673百万円となりました。内訳は、流動負債が153百万円減少の1,647百万円、固定負債が0百万円減少の25百万円であります。

流動負債の変動の主な要因は、短期借入金で150百万円、賞与引当金で185百万円の増加があった一方、支払手形及び買掛金が144百万円、未払金が144百万円、未払法人税が93百万円、その他（主に未払消費税等で53百万円の減少）が104百万円減少したこと等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は4,078百万円であり、前連結会計年度末より4百万円増加しております。要因としては、主に利益剰余金が9百万円増加したためであり、これは四半期純利益254百万円の計上と配当金支払245百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年7月15日の「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,176,978	1,030,996
受取手形及び売掛金	2,017,822	1,702,511
電子記録債権	208,727	164,553
商品及び製品	18,966	25,621
仕掛品	107,456	203,690
原材料及び貯蔵品	13,570	12,723
その他	216,246	265,838
貸倒引当金	△2,700	△6,121
流動資産合計	3,757,068	3,399,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	636,622	759,295
土地	453,001	583,579
その他(純額)	164,430	169,582
有形固定資産合計	1,254,054	1,512,457
無形固定資産		
のれん	443,228	404,586
その他	147,562	142,522
無形固定資産合計	590,791	547,109
投資その他の資産		
その他	312,633	305,314
貸倒引当金	△12,400	△12,400
投資その他の資産合計	300,233	292,914
固定資産合計	2,145,078	2,352,481
資産合計	5,902,147	5,752,295
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	406,362	261,738
短期借入金	370,000	520,000
1年内返済予定の長期借入金	1,165	1,139
未払金	370,308	226,127
未払法人税等	168,713	75,274
賞与引当金	109,443	294,922
受注損失引当金	4,327	2,175
その他	370,185	266,111
流動負債合計	1,800,507	1,647,489
固定負債		
長期借入金	1,593	604
退職給付に係る負債	23,080	23,096
資産除去債務	2,213	2,233
固定負債合計	26,887	25,935
負債合計	1,827,394	1,673,424

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,327	940,327
資本剰余金	1,171,768	1,171,768
利益剰余金	1,943,688	1,952,809
自己株式	△25,436	△25,479
株主資本合計	4,030,348	4,039,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,547	19,185
為替換算調整勘定	29,857	20,259
その他の包括利益累計額合計	44,404	39,444
純資産合計	4,074,752	4,078,870
負債純資産合計	5,902,147	5,752,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,729,811	6,219,795
売上原価	3,889,053	4,398,126
売上総利益	1,840,757	1,821,669
販売費及び一般管理費	1,314,536	1,339,044
営業利益	526,221	482,625
営業外収益		
受取利息	361	304
受取配当金	4,046	3,236
助成金収入	3,815	-
その他営業外収益	4,896	8,023
営業外収益合計	13,118	11,565
営業外費用		
支払利息	2,831	2,108
支払融資手数料	4,161	5,086
支払手数料	110	107
為替差損	1,195	1,140
従業員特別補償金	-	10,000
その他営業外費用	161	2,596
営業外費用合計	8,460	21,039
経常利益	530,880	473,151
特別利益		
固定資産売却益	231	53
特別利益合計	231	53
特別損失		
固定資産除却損	6,019	1,098
その他特別損失	226	-
特別損失合計	6,245	1,098
税金等調整前四半期純利益	524,866	472,106
法人税、住民税及び事業税	266,154	261,679
法人税等調整額	△23,385	△44,227
法人税等合計	242,769	217,451
少数株主損益調整前四半期純利益	282,097	254,654
四半期純利益	282,097	254,654

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	282,097	254,654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,800	4,638
為替換算調整勘定	△5,393	△9,598
その他の包括利益合計	1,406	△4,959
四半期包括利益	283,504	249,695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	283,504	249,695
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,723,684	1,114,632	1,891,495	5,729,811	—	5,729,811
セグメント間の内部売上高又 は振替高	6,622	704	128,885	136,212	(136,212)	—
計	2,730,306	1,115,337	2,020,380	5,866,024	(136,212)	5,729,811
セグメント利益	643,018	184,296	120,540	947,855	(421,633)	526,221

(注) 1. セグメント利益調整額△421,633千円には、セグメント間取引消去4,957千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△426,591千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,541,650	951,328	2,726,816	6,219,795	—	6,219,795
セグメント間の内部売上高又 は振替高	4,503	1,032	20,536	26,072	(26,072)	—
計	2,546,154	952,360	2,747,352	6,245,867	(26,072)	6,219,795
セグメント利益	605,904	116,563	181,914	904,382	(421,757)	482,625

(注) 1. セグメント利益調整額△421,757千円には、セグメント間取引消去7,255千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△429,013千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。